

COINS Seminar #55

【Date】 December/16/2020 (Wed.) 14:00-15:30 (The web meeting room will be open at 13:45)

【Venue】 ZOOM webinar *web conferencing software. we will let you know URL by the day before.

【Registration】 URL: <https://coins.kawasaki-net.ne.jp/form/seminar55/index.html>

Title : (日) DDS 研究を振り返って (英) Looking back on my DDS research

Abstract : (日本語)

この3月で国立がん研究センターを定年退職いたしました。

ただ、同時期にコロナ禍が襲ってきて、最終講義を含むすべてのイベントを中止いたしました。おかげさまで、静かに定年を迎えることができたと思っておりましたが、この夏には実家の人吉市が大洪水に襲われ、家は解体することになりました。地球温暖化のせいもあるのでしょうか、最近の雨の降り方は尋常ではありません。今後、人類は多くの困難に対峙することになるでしょうが、我々の備えはあまりにも脆弱であることが露呈しました。

世の中が明日の食い扶持を心配しなければならない状況で、未来のための研究活動を維持するのは容易ではないと思います。ただ、そのような緊張感のなかでこそブレイクスルーにより危機をチャンスにかえるといったポジティブな精神力が必要です。

定年を迎えての講演ということですので、前口上が長くなりましたが、EPR 効果の研究からがんと血液凝固、CAST 療法までレビューをします。

EPR 効果がマウス実験では世界的に証明されても、臨床でなかなか思い通りにはいかない原因を解明し、その中で不溶性フィブリン抗体を樹立したことが私の研究生生活の主要な部分です。抗体は2名の実験助手さんと樹立し、その後は優秀な研究者のおかげで特性解析ができ、最終的に、その抗体を用いたがん間質ターゲティング(CAST)療法を提唱いたしました。臨床の固形がんの治療においては EPR 効果と CAST 療法の二つが必要です。新規抗体と抗体 DDS を世にだすべく、国立がん研究センター発ベンチャーの凜研究所を設立しました。

本 COINS セミナーでは、自らの研究をふりかえるとともに今後の方向性についてもお話ししたいと思います。

Speaker : 松村 保広

Affiliation : 国立がん研究センター研究所免疫創薬部門 客員研究員
ナノ医療イノベーションセンター松村ラボ 主幹研究員
株式会社凜研究所 研究担当取締役
(兼任)



URL : 国立がん研究センター 研究所

https://www.ncc.go.jp/jp/ri/department/immune_medicine/member/20201001181756.html

<CV>

1981年 熊本大学医学部卒業

1981年 熊本大学医学部第1外科 研修医

1988年 熊本大学医学部微生物学 助手

1989年 米国マウントサイナイメディカルセンター 腫瘍内科 ポストドクター

1990年 英国オックスフォード大学 病理 ポストドクトラルフェロー

1994年 国立がん研究センター中央病院第一外来部 医員

1999年 同上 特殊病棟部 医長

2002年 国立がん研究センター研究所支所 がん治療開発部 部長

2012年 国立がん研究センター東病院 臨床開発センター 新薬開発分野 分野長
2015年 ナノ医療イノベーションセンター 主幹研究員
2018年 日本 DDS 学会理事長、関西医科大学 客員教授
2020年 国立がん研究センター 研究所 客員研究員

<Award>

2016年 トムソンロイター引用栄誉賞（現：クラリベイト・アナリティクス引用栄誉賞）
2019年 小林がん学術賞受賞

<Key words>

抗体、血液凝固、CAST 療法、DDS

*Supported by: COINS (JST, COIPProgram) , Innovation Center of NanoMedicine (iCONM)